

3次メッシュデータの使用について

1. 対象となる評価指標

事業実施による各施設（バス、鉄道、医療施設など）等へのアクセス性の向上を評価する評価指標については、3次メッシュデータを使用して評価した場合と、市町村単位で評価した場合とで、結果に違いが生じる可能性がある。

（アクセス性の向上を評価する評価指標）

指標 - 1：公共交通（バス・鉄道・空港等）の利便性が向上する
指標 - 2：高度な医療施設や公共公益施設の利便性が向上（利用可能地区が増加）する

2. ケーススタディの実施

「1. 対象となる評価指標」で示された2つの評価指標について、3次メッシュデータを使用して評価した場合と、市町村単位で評価した場合とでケーススタディを実施し、その結果について、実務担当者への意見聴取を行った（「3. ケーススタディ結果」参照）。

（ケーススタディ結果の詳細：参考資料2 - 3 - 5）

（3次メッシュデータの使用に関する主な意見）

- ・ 3次メッシュによる計算には、かなりの作業量を要するため、作業負担が多い
- ・ 3次メッシュによるデータ算出等は業務委託が必要になり、多額の費用を要する



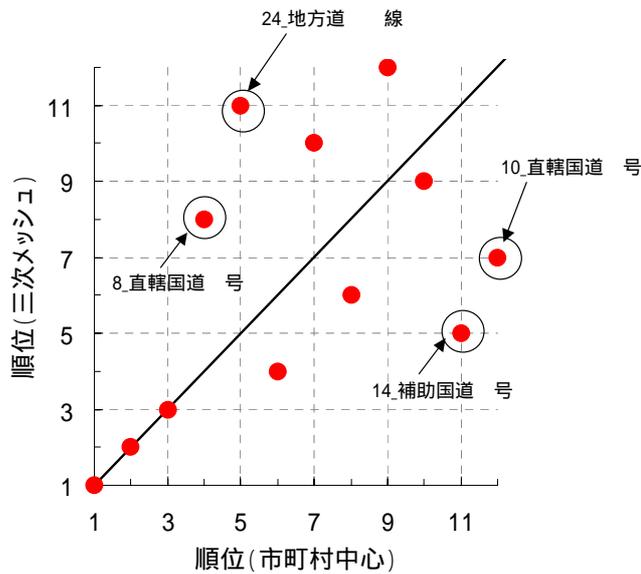
3次メッシュデータによる評価は作業負担が大きく、実務的でない。

3. ケーススタディ結果

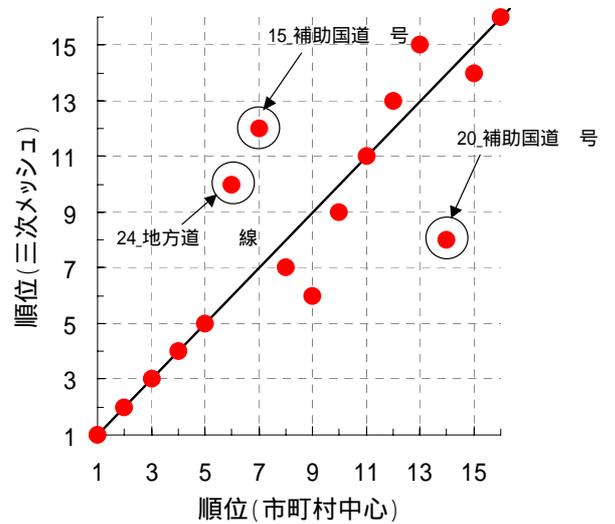
事業実施による各施設等へのアクセス性の向上を評価する評価指標（指標 - 1 / 指標 - 2）について、3次メッシュデータを使用して評価した場合と、市町村単位で評価した場合の順位変動を検証した。

指標 - 1：公共交通（バス・鉄道・空港等）の利便性が向上する

（鉄道）

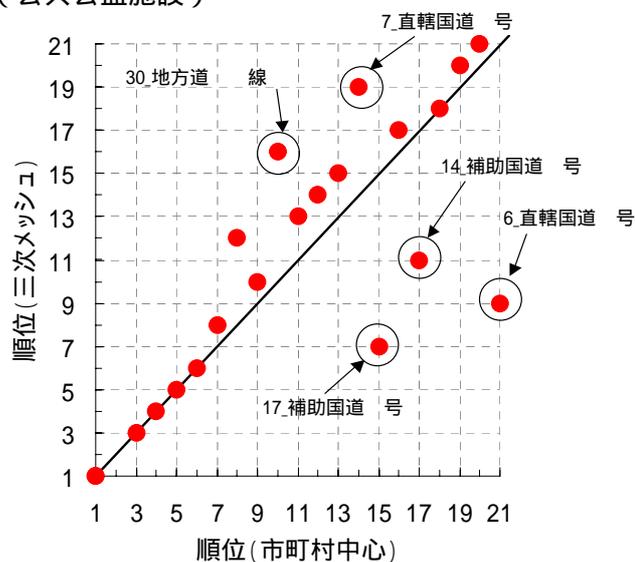


（空港）

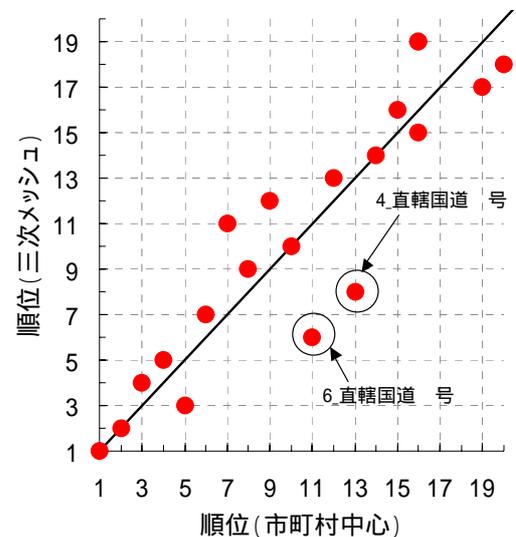


指標 - 2：高度な医療施設や公共公益施設の利便性が向上（利用可能地区が増加）する

（公共公益施設）



（高度な医療施設）



1) 順位変動の大きな事業と変動要因の類型

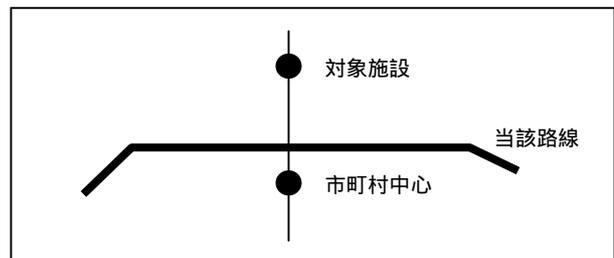
市町村中心 3次メッシュで順位が上がるもの		順位変動		短縮率変動		考えられる 要因(類型)
鉄道アクセス	10 直轄国道 号	12	7	1.0%	4.1%	
	14 補助国道 号	11	5	1.9%	5.9%	
空港アクセス	20 補助国道 号	14	8	0.6%	1.2%	
公共公益施設アクセス	6 直轄国道 号	21	9	0.2%	8.2%	
	14 補助国道 号	17	11	1.1%	6.7%	
	17 補助国道 号	15	7	1.3%	14.4%	
高度な医療施設アクセス	4 直轄国道 号	13	8	2.0%	7.1%	
	6 直轄国道 号	11	6	5.0%	11.4%	

市町村中心 3次メッシュで順位が下がるもの		順位変動		短縮率変動		考えられる 要因(類型)
鉄道アクセス	8 直轄国道 号	4	8	7.6%	4.0%	
	24 地方道 線	5	11	6.8%	2.0%	
空港アクセス	15 補助国道 号	7	12	2.7%	0.9%	
	24 地方道 線	6	10	3.7%	0.9%	
公共公益施設アクセス	7 直轄国道 号	14	19	1.5%	0.5%	
	30 地方道 線	10	16	5.0%	1.8%	

2) 変動要因の類型

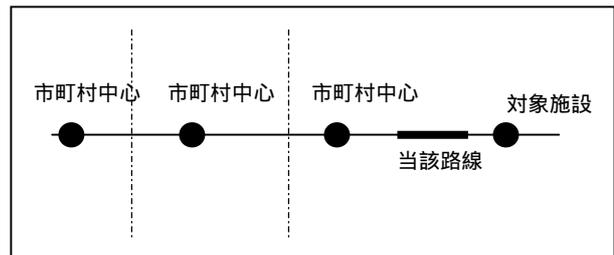
：アクセスルートに直交するケース

- ・市町村中心～対象施設のルートに対して、当該施設が直交する。
- ・市町村中心からのアクセス短縮率はあまり変わらないが、3次メッシュの場合は効果が大きくなる。

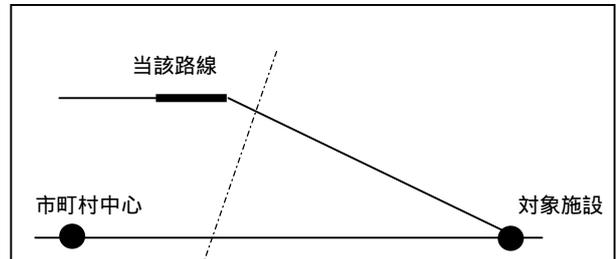


：対象市町村範囲が大きいケース

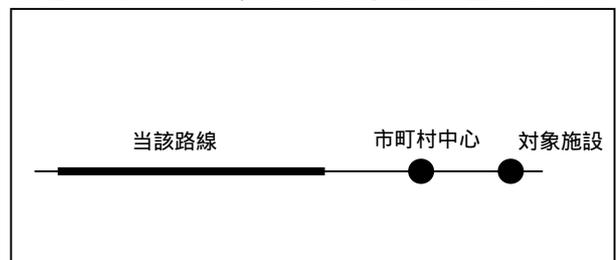
- ・対象とする市町村の範囲が広い。
- ・遠方の市町村は短縮率がほとんど変わらないため、市町村中心の場合の短縮率が小さくなる。



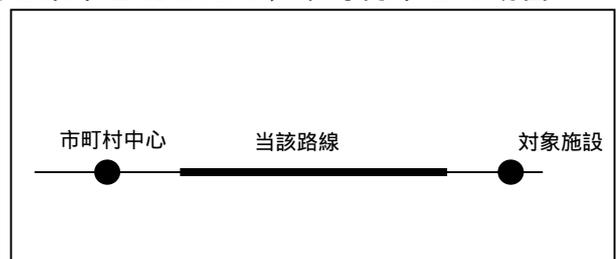
- ：市町村中心と事業箇所が離れているケース
- ・市町村中心と事業箇所が離れている。
- ・市町村中心～対象施設へのルートが当該事業箇所を通過しない。
- ・市町村中心の短縮率は低くなる。



- ：市町村中心と対象施設が近いケース
- ・対象施設と事業箇所の間に市町村中心がある。
- ・市町村中心～対象施設間にはあまり影響がないため、市町村中心の短縮率は低くなる。



- ：市町村中心が事業箇所より後方（ルート上）にあるケース
- ・対象施設と事業箇所の後ろに市町村中心がある。
- ・市町村中心～対象施設のアクセスにおいて、事業箇所の効果を最大限得ることができ、かつ市町村中心に人口を集中させるため、市町村中心の場合の効果が大きくなる。



- ：市町村中心と事業箇所が離れており、市町村中心と対象施設が近い場合
- ・事業箇所が市町村中心から離れた地域(人口があまりない地域)を通過する。
- ・市町村中心と対象施設が近い。
- ・市町村中心～対象施設のルートは大きな影響を受けないが、距離が近いいため、例えば10分 5分で短縮率=50%になる。

